

教科	国語	科目	国語	単位	4単位	年次	第1学年
使用教科書	伝え合う言葉 中学国語1						
副教材	新版級別漢字 秀学社 問題中心の新文法ノート 浜島書店						

1. 担当者からのメッセージ (学習方法等)

文章の「言葉」から想像し、文章の「言葉」に固執しながら、「言葉」から新たなものの見方考え方を探していくことを中心に進めていきます。「言葉」から読み取り、読み取ったことを表現する活動を通して、自分の考えを他者に伝えることは、たくさんの情報で溢れている現代社会においては重要な能力です。創り出すだけでなく、言葉で思考をまとめ、言葉で情報を発信していきましょう。そのために、1人だけで考えるのではなく、自らの知識や考えを積極的に他者と共有していきましょう。また、言語分野では、日本語の言葉の豊かさを学びながら、言葉の表現を豊かにしましょう。

2. 学習の到達目標

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 主 旨	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにするようにする。	言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
評 価 方 法	・漢字テスト ・文法テスト ・定期テスト	・定期テスト ・成果物 ・作品 ・パフォーマンス	・定期テスト ・成果物 ・作品 ・パフォーマンス

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

月	単元	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法	
			a	b	c			
4	・ガイダンス	・河童と蛙 ・オツベルと象 ・自分の脳を知っていますか ・級別漢字/新文法ノート ・				a.社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 b.筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにするようにする。 c.言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	・定期テスト ・成果物 ・作品 ・パフォーマンス ・漢字テスト ・文法テスト ・定期テスト	
5	・詩							
6	・文学的文章 ・説明的文章		○		○			
7	・言語							
8	・書写							
9	・古典 ・文学的文章 ・言語 ・書写	・竹取物語 ・文学的文章 ・級別漢字/新文法ノート ・				a.社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 b.筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにするようにする。 c.言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	・定期テスト ・成果物 ・作品 ・パフォーマンス ・漢字テスト ・文法テスト ・定期テスト	
10								
11				○				○
12								
1	・文学的文章 ・言語 ・書写	・少年の日の思い出 ・級別漢字/新文法ノート ・				a.社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 b.筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにするようにする。 c.言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	・定期テスト ・成果物 ・作品 ・パフォーマンス ・漢字テスト ・文法テスト ・定期テスト	
2								
3				○				○

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※原則として一つの単元 題材 で全ての観点について評価することとなるが、学習内容・小単元の各項目において重点的に評価を行う観点 もしくは重み付けを行う観点 について○を付けている。